

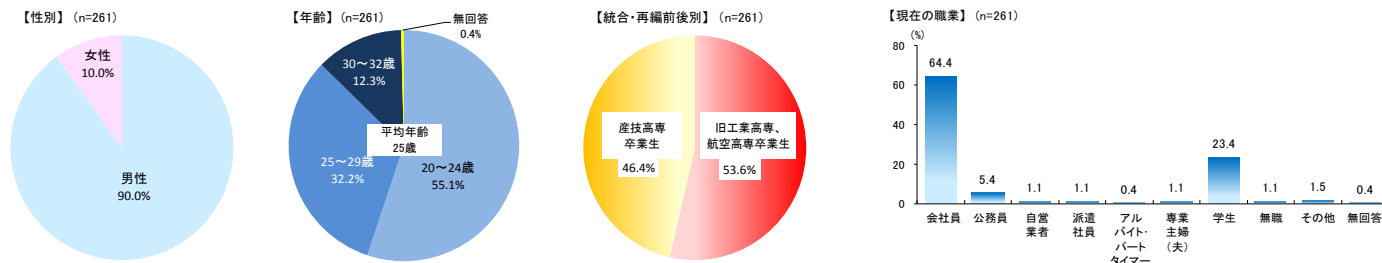
「平成25年度東京都立産業技術高等専門学校に関する卒業生アンケート調査」 調査結果（概要）

調査概要

【調査対象】 東京都立産業技術高等専門学校（以下「本校」という。）の平成14・16・18・20～24年度卒業生（修了生を含む。以下同じ。）
 ※卒業生には統合・再編前の東京都立工業高等専門学校及び東京都立航空工業高等専門学校（以下「旧工業高専・航空高専」という。）の卒業生も含む。）
 【調査手法】 郵送アンケート調査 【発送数、回収結果】 有効発送数：1,904、有効回収数：261、回収率：13.7%
 【調査結果の比較対象】
 「卒業生を対象とした調査（OB・OGアンケート）」（平成22年度調査、以下「前回調査」）
 「卒業生及び東京都立産業技術高等専門学校に関する企業の意識調査」（平成24年度調査、以下「企業調査」）

回答卒業生の基本プロフィール

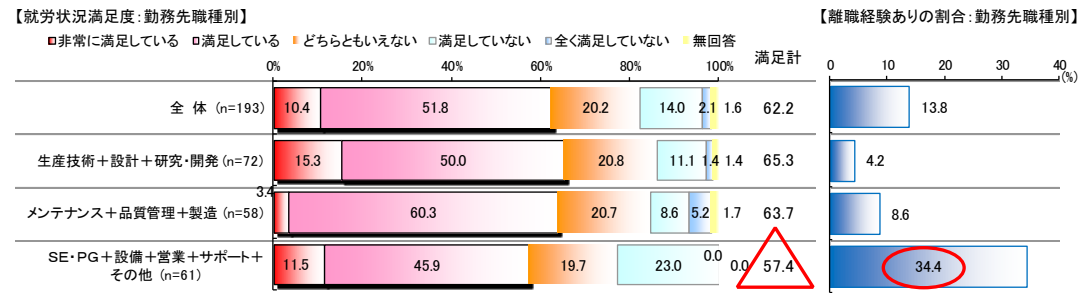
本調査の対象者である卒業生のプロフィール（性別、年齢、統合・再編前後別、現在の職業）は以下のとおりである。



本校卒業生の就労状況

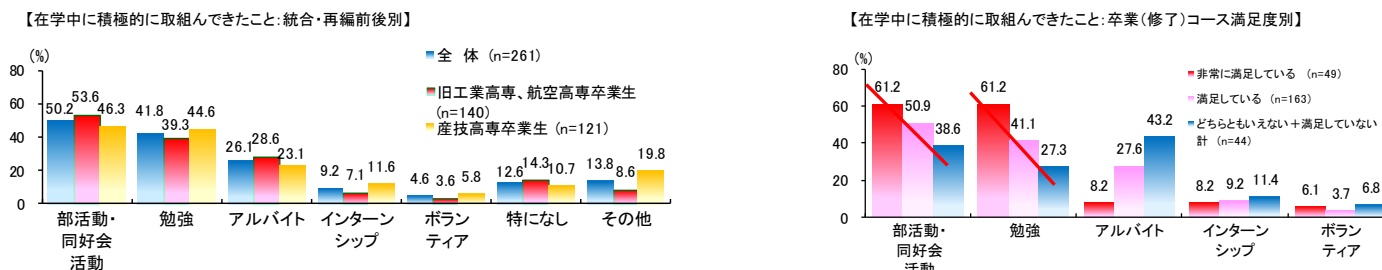
現在の勤務先の主な職種は「設計(19%)」、「メンテナンス(15%)」、「研究・開発(11%)」の順となった。旧工業高専・航空高専卒業生は設計が、産技高専卒業生は製造が最も多い。
 現在の年収は、300万円台(43%)が最も多く、200万円台(24%)と合わせて7割弱を占める。前回調査では、300万円台以下の割合は半数にとどまっており、今回の調査を大きく下回る。(平成24年度民間給与実態調査では25～29歳の1年間の平均給与は335万円と今回の調査とほぼ同じ)

現在の就労状況の満足度をみると、「非常に満足している」と「満足している」を足した満足計は、全体では6割以上を占める。SE・PG・営業・サポート関係の職種についている人の満足計の割合は、他の職種についている人より低い傾向である。また、離職者の比率も他に比べて高い。



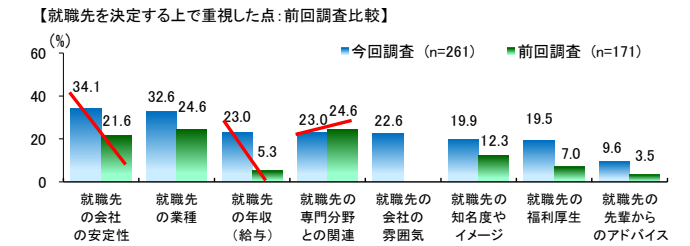
在学中の生活と満足度について

卒業生が在学中に積極的に取り組んできたことをみると、「部活動・同好会活動」が最も多く、次いで「勉強」、「アルバイト」の順となった。産技高専の卒業生は「勉強」を挙げる卒業生の割合が高い。前回調査と比較すると「勉強」を挙げる人の割合が多く、「部活動や同好会活動」だけでなく「勉強」も積極的に取り組む学生が多くなっていることが伺える。
 本校卒業(修了)コースについての全体的な満足度をみると、「非常に満足している」+「満足している」を足した満足計は8割以上を占めている。「非常に満足している」と回答している人の在学中に積極的に取り組んだことについてみると、「勉強」だけではなく、「部活動・同好会活動」も積極的に取り組んだ人の割合が高く、他の卒業生に比べて活発な学校生活を送っていたことが伺える。



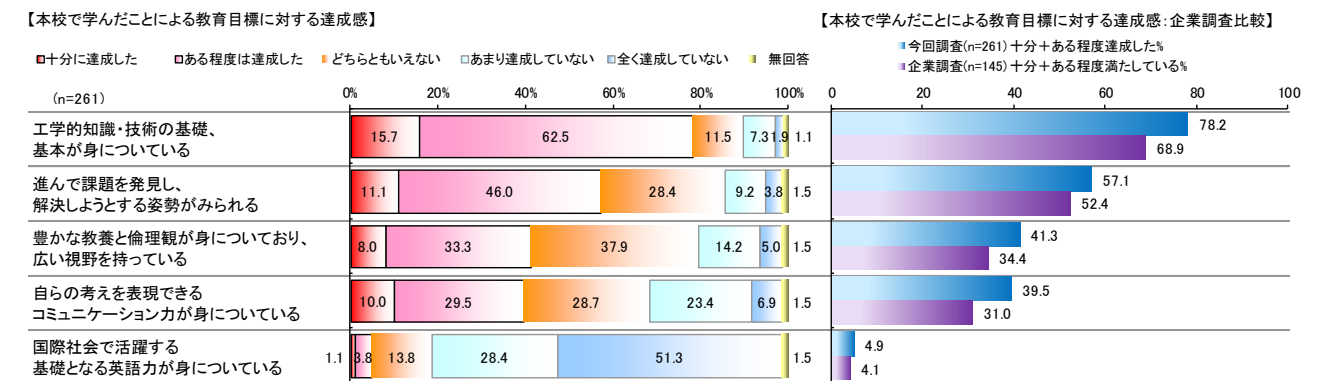
進路指導について

就職先決定の重視点は、「就職先の会社の安定性」、「就職先の業種」、「就職先の年収」の順となった。
 前回調査では、「就職先の専門分野との関連」や「就職先の業種」が最も高く重視されており、「就職先の年収(給与)」の重視度は低い。「就職先の会社の安定性」は前回調査を大きく上回る結果となっており、安定志向の傾向が伺える。



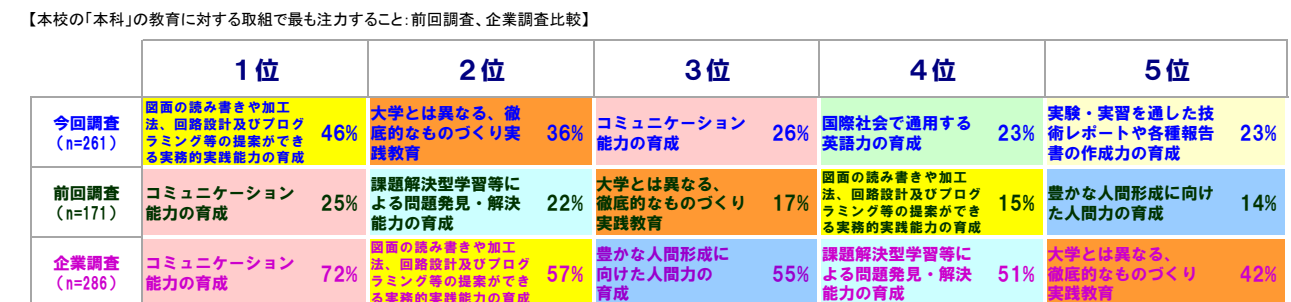
本校の教育目標に対する達成感について

本校の教育目標に対する関連項目の達成感をみると、本校で学んだ卒業生の達成感は「工学的知識・技術の基礎、基本が身についている」が高いが、「国際社会で活躍する基礎となる英語力が身についている」は非常に低い。企業調査における本校卒業生の採用企業側での評価(「十分満たしている」+「ある程度満たしている」割合の合計)と卒業生の達成度が同じ傾向となった。



本校「本科」の教育に対する取り組みで注力すべきこと

本校「本科」の教育に対する取り組みで最も注力すべき点は「図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成(46%)」、「大学とは異なる、徹底的なものづくり実践教育(36%)」、「コミュニケーション能力の育成(26%)」の順となった。
 前回調査及び企業調査でのランキングと比較すると、「コミュニケーション能力の育成」と「図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成」及び「大学とは異なる徹底的なものづくり実践教育」は両調査でも上位に挙げられている。



本調査のまとめ

- ✓ 本校の卒業生の就労状況は6割以上が満足と回答。年収は時代の流れで前回調査をやや下回っており、就職では安定性を重視する傾向にある。
- ✓ 卒業生の多くは卒業(修了)コースに対する全体満足度が高く、特に非常に満足している人たちは、勉強と部活動や同好会活動を両立して充実した学校生活を送った人が多い傾向にある。
- ✓ 教育目標に対する達成感は、「工学的な知識や技術の基礎が身につけていること」は高いが、「国際的に活躍する基礎となる英語力を身に付ける」は非常に低い。この傾向は企業調査の結果と同じである。
- ✓ 今回の調査、前回の調査及び企業調査の結果から本科で取り組む教育の課題は「コミュニケーション能力の育成」、「図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成」である。